

レプトスピラ症

レプトスピラ症は2003年11月5日(2003年45週)から感染症法の4類感染症となった。千葉県では、2003年45週から2016年43週に8例の届出があった。2016年は例年と比較し、届出数が多くなっている(図)。そこで、感染症サーベイランスシステム(NESID)に保存されている2006年～2016年43週に届出された6例について発生状況をまとめた。2003年～2005年の届出については感染症発生動向調査週報(IDWR)2005年第13週の速報を¹⁾、2007年1月～2016年4月の全国の発生状況については病原微生物検出情報(IASR)Vol. 37 No. 6²⁾をご参照ください。

図 2006年～2016年43週
千葉県のレプトスピラ症 年別・性別届出数

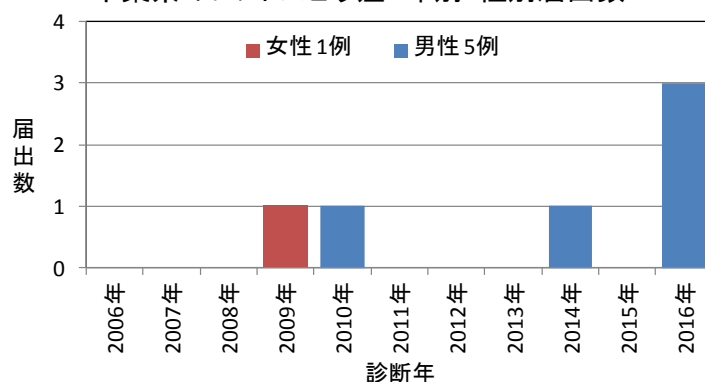


表 2006年～2016年43週千葉県のレプトスピラ症 年別届出数

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合計
性別	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	5
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
感染地域	国内	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	5
	国外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
年齢群別	10代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	60代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	70代	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
合計		0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3	6

類型は、全例患者であった。

性別では、男性5例(83.3%)、女性1例(16.7%)であった(表)。

年齢群別では、10代1例(16.7%)、60代2例(33.3%)、70代3例(50.0%)であった(表)。

発症月別では、8月2例(33.3%)、9月3例(50.0%)、12月1例(16.7%)であった。

症状等として報告されたのは、発熱6例(100.0%)、筋肉痛5例(83.3%)、結膜充血5例(83.3%)、蛋白尿5例(83.3%)、腎不全4例(66.7%)、黄疸3例(50.0%)であった(複数報告あり)。

診断方法として報告されたのは、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出4例(66.7%)、ペア血清での顕微鏡下凝集試験法(MAT)による血清抗体の検出4例(66.7%)であった(複数報告あり)。

感染地域として推定されたのは、千葉県5例、タイ1例であった(表)。

<参考>

- 1) 国立感染症研究所 感染症発生動向調査週報(IDWR) 2005年第13週
URL: <http://idsc.nih.gov/idwr/kanja/idwr/idwr2005/idwr2005-13.pdf>
- 2) 国立感染症研究所 病原微生物検出情報(IASR) Vol. 37 No. 6
URL: <http://www.nih.gov/niid/ja/iasr-vol37/6517-idx436.html>